

第6学年 外国語科学習指導案

指導者 小澤 宏成
ALT Patrick Vives

1 単元名

Let's think about our food. ～ALT にあった「おすすめの和食」を伝え合おう。～
(総合的な学習の時間「未来へ和食をつなげよう」)

(NEW HORIZON Elementary 6 Unit 6)

2 単元について

○教材観

現行学習指導要領が求める教育指導上の課題の1つに、「主体的, 対話的で深い学び」の実現がある。

学習の「必然性」が特に問われる外国語科にあっては、この「主体的学び」の創造は、学習指導上非常に重要な課題である。そこで、今回の「NEW HORIZON Elementary 6 Unit 6『Let's think about our food.』」の指導に際しては、当該児童が同時期に学習する、「総合的な学習の時間『未来へ和食をつなげよう』」と関連させながら、学習指導を行うこととした。

今回、「総合的な学習の時間」で児童が学習を行う「和食」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されており、今夏開催された東京オリンピック・パラリンピックを基に世界中からも注目を浴びている。その理由が和食を象徴する「健康的な栄養バランス・新鮮な食材・年中行事の関わり・季節の移ろい(見た目)」この4つの特徴が世界的にも高い評価を受けているからである。「総合的な学習の時間」ではこの和食の4つの特徴を関連付けた学習活動を設定すると共に、本単元では、そこでの学習内容を、英語を用いてALTとやり取りするといった学習場面も設定する。

さて本単元では、児童が和食に関する言語材料について詳しく知った上で、「What's this?/ This is ~.」や、「What group is ~ in? / ~ is in the... group.」, 「Where is ~ from? / ~ is from...」などの表現を用いて、「やり取り」することをねらいとしている。「What group is ~ in? / ~ is in the... group.」の表現を用いて和食がもつ栄養素上のバランスの良さを、「Where is ~ from? / ~ is from...」の表現を用いて食材の産地を伝え合うことにつなげていきたい。

さらに、児童が、本単元で用いる言語材料の必要性を感じながら、英語を使用することができるように単元の終末に『ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、和食マイスターとして、考えたメニューについて自分の考えや気持ちを伝え合おう。』という場面を設定し、言語活動を行わせたい。児童は、本単元の学習を先導する「総合的な学習の時間」や、第5学年時の家庭科の既習学習「5大栄養素を扱った調理実習(自宅)」等の学習を通して、和食の特徴について多くのことを学んでいる。その学習を生かし、ALTにあった「おすすめの和食」を考えることで、外国語が目指す「伝えたい意欲」の高まりが生まれると考える。

○児童観

本学級は、男子18名、女子15名、計33名の学級である。外国語科に対する意欲は高く、週2時間の授業を楽しみにしている児童が多い。授業では、学習する言語材料以外にも、クラスルームイングリッシュを用いたり、既習事項の表現を復習したりしながら、英語表現に慣れ親しんでいる。

各単元においては、デモンストレーションから本時の目標を捉える経験を昨年度から積み重ねてきた。各授業の導入では、HRTとALTのスマールトークを行う場面を見たり聞いたり、一緒に会話に参加したりして、既習事項の復習をしている。デモンストレーションでは「目的・場面・状況」を理解

し、「新たに出会った表現」と結びつけながら考え、本時の目標を捉えられるようにしている。こういった経験を数多く積むことを通して、新しい表現に出会った際にも、「目的・場面・状況」から意味を捉えることを意識して学ぼうとしている児童が増えてきている。

また、新出の英語表現を使って、友達とやり取りをすることに楽しさを感じたり、話の内容に合わせて相づちや聞き返しなどのリアクションを取ったりするなど、言語活動の様子にも成長が伺える。

○指導観

本校はこれまで山梨県学校教育指導重点の1つであり課題となっている英語による発信技能、とりわけ「話すこと [やり取り]」における技能を向上させるために研究を行ってきた。さらに、文部科学省より英語教育改善プラン推進事業の指定を受けたことにより、本課題の解決に向け、実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題（パフォーマンス課題）を設定し、指導・評価するモデルを構築することを旨とした研究を進めることとした。

教材観でも記述したとおり、児童はまず、総合的な学習や家庭科の学習を通して和食の良さについて知る。その上で、ALTの抱える食生活の悩みや嗜好などの情報を言語活動を通して知り、単元の終末にALTにすすめたい和食を紹介する。

ただし、単に「おすすめの和食」を紹介するのでは「話すこと [発表]」となり、「話すこと [やり取り]」の領域での活動とずれが生じる。そこで、パフォーマンス評価の場面は、ALTからの質問や反応にその場で応答しながら、自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動を行うこととした。その際、単元の中心となる言語材料だけでなく、既習の言語材料も使いながら、やり取りすることができるようにしていきたい。

本校では、昨年度の校内研究の実践において、信頼性・妥当性のある評価を行うために、やり取りの場面において、児童の使用する言語材料を基に即座に評価できる「評価シート」を提案し、その効率性について一定の評価を受けた。今年度は、評価シートに児童の双方の評価ができるような項目を付加し、評価場面での迷いや評価者によるばらつきを低減したいと考えた。これにより、児童を評価する機会がより多く確保でき、その後の指導改善につなげることができると考える。

本単元で育成したい、学習指導要領の「話すこと [やり取り]」の目標ウに示された、「その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合う」という、即興的なやり取りについては、まだまだ成長の過程にある。学習指導要領に示されているとおり、教師が当該表現を意図的に繰り返し使用するといった「やってみせる」指導から始めることが重要性だと考える。そこで、慣れ親しんだ疑問文を用いて児童に質問をしたり、教師の話に対して児童に質問をさせる機会を設けたりするなど、言語活動を通して、即興的なやり取りができることを目指す。

本時では、おすすめの和食について即興的なやり取りをする場面を設定する。総合的な学習の時間に学んだことを通して、「和食マイスターとして、和食を紹介したい。」という思いや考えをもって、やり取りができるように、前時までの学習を生かしながら指導をしていく。

そのために、単元を通して、二つの手立てを取り入れる。一つ目の手立ては、相手意識をより明確にするために、ALTに関する情報を聞く時間を設定することである。ALTの人となりを知ることで、児童の伝えたい、答えたいという意欲を向上させる。二つ目は、毎時間の導入で、スモールトークを活用し、教師と児童が質問をしたり、答えたりする言語活動を設けることである。その際の受け答えに、これまでに学習した表現を使うことで自分の思いが伝えられるということに気付かせていきたい。さらに、授業における中間指導の時間を大事にすることで、児童の表現に意味づけをし、全体で共有を図りながら、児童の気づきを促していきたい。

3「Can Do リスト」の形での学習到達目標(第6学年)

話すこと [やり取り]	書くこと
自分や相手のこと、身の回りの物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で関連する質問をしたり質問に答えたりすることができる。	自分が知っている情報や考えについて、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

関係する領域別目標：話すこと [やり取り] ウ、書くこと イ

※「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

4 単元の目標

和食マイスターとして友達やALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。また、自分が知っている情報や考えについて書くことができる。

5 言語材料

○新出表現 What group is ~ in? / ~ is in the...group. Where is ~ from? / ~ is from...

既習表現 What do you usually eat for ~? / I usually eat... What did you eat for ~? / I ate ~ last night.
What's this? / This is ~. What do you think ~? / It's...

○新出語彙 食べ物, 食事, 食材

既習語彙 果物・野菜, 味, 地名(地域, 都道府県や国名)

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<p><知識> 食べ物や食材の名前, What group is ~ in? / ~ is in the...group. Where is ~ from? / ~ is from... What's this? / This is ~. What do you think this menu? / It's ~ menu. などの尋ね方や答え方について理解している。</p> <p><技能> 知識を使って、食べ物や食材のことについて, What group is ~ in? / ~ is in the...group. Where is ~ from? / ~ is from... What's this? / This is ~. What do you think this menu? / It's ~ menu. などを用いて、考えや気持ちを伝え合うために必要な技能を身に付けている。</p>	和食マイスターとして、友達やALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	和食マイスターとして、友達やALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。

7 単元の指導と評価の計画(全8時間)

総合的な学習の時間	外国語科	評価			
ねらい	ねらい	知	識	態	◎評価規準 (評価方法)
和食のよさと危機に気づき、つくる責任、つかう責任(SDGs12)について考えることができる。	和食マイスターとして友達やALTに「おすすめのと食」を伝えるために、考えたメニューについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。		判	度	
目標(◆) 主な活動(○)	目標(◆) 主な活動(○) アクティビティ(・) 誌面化された活動(【】)				
<p>第1次 和食のよさに気づく</p> <p>第1時 和食のベース(だし) ◆和食のだしを知る。 ○だしの味や香りを実際に感じとることで、和食のうまみと出会う。 ※【家5】「食べて元気に」の和食の基本となるだしやみそ汁の調理の仕方を思い出す。</p> <p>第2時 和食って何? ◆和食について知る。 ○和食の4つのよさに気づき、和食とは何かを考える。 ※【家5】「食べて元気に」振り返り、和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたわけを考える。</p> <p>第3時 (私が) 気になる和食 ◆気になる和食を決めることができる。 ○気になる和食は何か理由も含めて考える。</p> <p>【家庭科】題材「こんだてを工夫して」(全8時間) 第1時 どのような料理や食品を組み合わせて食べるとよいだろう。 第2時 一食分の献立を考えよう 第3時 栄養のバランスをたしかめよう</p> <p>第4・5時 (私の) 気になる和食の徹底調査! ◆(私の) 気になる和食について愛着を持つ。 ○気になる和食の材料・作り方・栄養素・産地などを調べる。気になる和食のよさを4つの視点に位置付ける。</p>					
	<p>第1時 ALTからのお願い</p> <p>◆単元の見通しをもち、和食の名前やその食材の言い方を知る。 ○Small Talk ・昨日食べた夕食のメニューについて、HRTとALTの話聞く。 ・Today's themeについてペアで話す。 「What did you eat for dinner?」 ○Let's listen ・ALTの悩みを聞き、「和食メニューを提案</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

	<p>して欲しい。」という願いを知る。</p> <p>○本単元のゴールの見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和食マイスターとして、ALTに「おすすめの和食」を伝えることが目的であることを知る。 <p>○New words</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な和食や食材などについての語彙を指導者とのやり取りを通して知る。 ・ペア同士で好きな和食や食材などの語彙について伝え合う。 <p>○Review</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートへ記入する。 			
	<p>第2時 ALTの食事のバランス</p> <p>◆食材がどの栄養素のグループに入るかの尋ね方や答え方について知る。</p> <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの普段の朝食のメニューについてHRTとの話を聞く。 ・Today's themeについてペアで話す。 「What do you usually eat for breakfast?」 <p>○Let's watch and think</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの朝食のメニューがどの栄養素のグループに入るか児童とやり取りをしながら、バランスを確かめる。 <p>○New English</p> <ul style="list-style-type: none"> ・What color group is~ in? /~is in the... group.の表現についての尋ね方や、答え方を知る。 <p>○Let's Try</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の食べたものについて友だちとやり取りをしながら仕分ける。 <p>○Review</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートへ記入する。 			<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>
<p>第6時 ALTからのお尋ね</p> <p>◆和食の4つのよさの視点からALTの食の様子を眺めてみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様で新鮮な食材(旬の食材・だし) ・健康的な食生活を支える栄養バランス(ヘルシー・バランス) ・季節感(見た目・うつろい) ・年中行事(郷土食・つどい) 	<p>第3時 食材はどこから来ているの</p> <p>◆食材の産地の尋ね方や答え方について知る。</p> <p>○Small Talk</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの買ってきたものについてどの栄養素にはいるかHRTとALTの話を聞く。 ・Today's themeについてペアで話す。 「What color group is rice in?」 <p>○New English</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの買ってきたものの産地について考え、尋ね方や答え方を知る。 ・Where is~ from? /~is from... <p>○Let's Try</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が食べたものについての食材の産地 			<p>★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。</p>

	<p>を尋ね合う。</p> <p>○Review</p> <p>・振り返りシートへ記入する。</p>				
	<p>第4時 ALTのメニュー作りの ヒントをキャッチしよう。</p> <p>◆ALT への和食のメニューを作るためにもっとALT のことを知る。</p> <p>○Small Talk</p> <p>・ALT の母国である食材についてALT から児童へクイズ形式でやり取りをする。</p> <p>・Today's theme についてペアで話す。 「Do you want to eat Lechon?」</p> <p>○Let's watch and think</p> <p>・ALT の母国であるフィリピンの朝食についてHRT とALT の話を聞く。</p> <p>○Let's Try</p> <p>・ALT のことをもっと知るために多くのことを質問して、メニュー作りのヒントを得る。</p> <p>○New English</p> <p>・It's~menu.の表現について知る。</p> <p>○Review</p> <p>・振り返りシートへ記入する。</p>			○	◎よりよいメニューを考えるために、大切な情報を得ようとしている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉 話すこと「やり取り」 (主)
<p>第7時 ALT への「おすすめの和食」</p> <p>◆和食の4つのよさの視点からALT への「おすすめの和食」を考え、決める。</p> <p>・多様で新鮮な食材(旬の食材・だし)</p> <p>・健康的な食生活を支える栄養バランス(ヘルシー・バランス)</p> <p>・季節感(見た目・うつろい)</p> <p>・年中行事(郷土食・つどい)</p> <p>第2次 和食の危機を知る</p> <p>第1時 危機に立つたぬきうどん</p> <p>◆和食が抱える課題について知る。</p> <p>○馴染みのある「たぬきうどん」から和食が抱える課題を捉える。</p> <p>第2時 たぬきうどんを自給率で眺めてみると</p> <p>◆和食食材についての食料自給率の現状を理解する。</p>					

<p>○たぬきうどんの食材, その他の和食食材の食料自給率を調べる。</p> <p>第3・4時「おすすめの和食」食材の食料自給率, 徹底調査!</p> <p>◆「おすすめの和食」食材を持つ課題を調べ, 自分の考えをまとめる。</p> <p>○「おすすめの和食」食材ごとの, 主要産地と自給率について調べる。</p> <p>○調べた結果をまとめる。</p> <p>【国語科】 単元「日本文化を発信しよう」(全6時間) 第1時 題材を決めて, 構想を練ろう。 第2時 詳しく調べよう。</p>				
<p>第3次 「いただきます」の意味ってなに?</p> <p>第1時</p> <p>これが, ALT への「おすすめの和食」</p> <p>◆(私の)「おすすめの和食」を紹介し合う和食カードをつくる。</p> <p>【国語科】単元「日本文化を発信しよう」(全6時間) 第3時 パンフレットの構成を決めよう。 第4時 割り付けを決め, 下書を書こう。 第5時 パンフレットを完成させよう。</p> <p>【家庭科】題材「こんだてを工夫して」(全8時間) 第4・5時 調理の計画を立てよう 第6・7時 計画に沿って調理実習をしよう(家庭) 第8時 ふりかえりをしよう</p>	<p>第5時「食材の栄養素や産地について伝え合おう。」</p> <p>◆和食マイスターとして「おすすめの和食」の1品の食材の栄養素や産地について尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Small Talk ・「おすすめの和食」の1品の食材の栄養素や産地について HRT と ALT との話を書く。 ・Today's theme についてペアで話す。 「Do you like it?」</p> <p>○Let's Try ・「おすすめの和食」の1品の食材の産地や栄養素について What group is~ in? /~is in the...group. と Where is~ from? /~is from...の表現を用いて, 尋ねたり答えたりする。</p> <p>○Let's Read and Write ・「わたしのセリフ」を考えて, 書き写しをする。</p> <p>○Review ・振り返りシートへ記入する。</p>	○		<p>◎基本的な語句や表現を用いて, 食材の産地を尋ねたり答えたりして情報を伝え合うことができる。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉 話すこと「やり取り」(知・技)</p>
	<p>第6時「おすすめの和食」の情報について伝え合おう。</p> <p>◆和食マイスターとして「おすすめの和食」の情報について, 尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○Small Talk ・HRT が考えた「おすすめの和食」について HRT と ALT の話を聞く。 ・Today's theme についてペアで話す。</p>	○		<p>◎「おすすめの和食」の情報について, 尋ねたり答えたりすることができる。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉 話すこと「やり取り」(知・技)</p>

	<p>「What do you think?」</p> <p>○Demonstration ・HRT と代表児童のデモンストレーションを通して具体的な学習活動の見通しをつかむ。</p> <p>○Let's Try ・「おすすめの和食」の情報について What's this? / This is ~.What group is~ in? /~is in the...group. と Where is~ from? /~is from...の表現を用いて、尋ねたり答えたりする。</p> <p>○Review ・振り返りシートへ記入する。</p>			
	<p>第7時（本時）</p> <p>「おすすめの和食」について自分の考えや気持ちを伝え合おう。</p> <p>◆和食マイスターとして、ALT への「おすすめの和食」について、友達と自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。</p> <p>○Small Talk ・昨夜食べた夕食について、HRT と ALT の会話を聞く。 ・Today's theme についてペアで話す。 「What did you eat for dinner?」</p> <p>○Demonstration ・HRT と ALT のデモンストレーションを見ることを通して具体的な学習活動の見通しをつかむ。</p> <p>○Let' s Try（前半） ・個々に考えた「おすすめの和食」についてやり取りを行う。</p> <p>○中間指導 ・やり取りの受け答えで、ALT を意識している、内容が適切である、言い方が分からずに困っているペアを取り上げ、既習の英語表現を用いて表現できることを共通確認する。</p> <p>○Let' s Try（後半） ・前半と後半では話し手と聞き手を入れ替えてやり取りを行う。</p> <p>○Review ・振り返りシートへ記入する。</p>	○	○	<p>◎和食マイスターとして、ALT への「おすすめの和食」について、友達と自分の考えや気持ちを伝え合っている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉 話すこと「やり取り」（思・判・表）</p> <p>◎和食マイスターとして、ALT への「おすすめの和食」について、友達と自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉 話すこと「やり取り」（主）</p>

<p>第2～3時 生産者の顔</p> <p>◆「おすすめの和食」食材を作る人について調べる。</p> <p>第4時 いただきますの意味って何</p> <p>◆「いただきます」の意味を考える。</p> <p>第5・6時 和食を未来へ伝えたい</p> <p>◆和食のスライド（＝学習のまとめ）を作る。</p>	<p>第8時</p> <p>和食マイスターとして、ALTに自分の考えや気持ちを伝え合おう。</p> <p>◆和食マイスターとして、ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。[パフォーマンステスト]</p> <p>○パフォーマンステスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和食マイスターとして、ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューや食材の栄養素、食材の産地などについて、自分の考えや気持ちを伝える。 <p>○Review</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートへ記入する。 	○	○	○	<p>◎誤りが一部あるがコミュニケーションに支障のない程度に、考えたメニューについて、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合っている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p> <p>話すこと「やり取り」 (知・技)</p> <p>◎和食マイスターとして、ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、自分の考えや気持ちを伝え合っている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p> <p>話すこと「やり取り」 (思・判・表)</p> <p>◎和食マイスターとして、ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p> <p>話すこと「やり取り」 (主)</p>
--	---	---	---	---	---

[単元のパフォーマンス課題] (やり取り) 8時間目

和食マイスターとして、ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。

[評価基準 (ルーブリック)]

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	正確に、考えたメニューについて、ALTを意識しながら、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	和食マイスターとして、ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちをより詳しく伝え合っている。	和食マイスターとして、ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちをより詳しく伝え合おうとしている。
b	誤りが一部あるがコミュニケーションに支障のない程度に、考えたメニューについて、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合っている。	ALTに「おすすめの和食」を伝えるために、考えたメニューについて、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。
c	誤りや不明確な部分があり、コミュニケーションが途切れてしまい、考えたメニューについて、自分の考えや気持ちを伝え合っていない。 ⇒児童のつまずきに応じて助言や支援(ワードカードやイラストを提示)を行う。	考えたメニューについて、既習の語句や表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝え合っていない。 ⇒児童のつまずきに応じて助言や支援(ワードカードやイラストを提示)を行う。	既習の語句や表現を用いて、考えたメニューについて、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしない。 ⇒児童のつまずきに応じて助言や支援(ワードカードやイラストを提示)を行う。

[想定されるパフォーマンス]思考・判断・表現 b

STU: Hi, Patrick sensei. Look at this.
 ALT: Oh, it's nice. What's this?
 STU: It's sweet potato rice. This is sesame.
 ALT: It's good. Where is the sweet potato from?
 STU: Sweet potato is from Kagoshima.
 ALT: Kagoshima? I see. What group is sesame in?
 STU: Sesame is in the yellow group.
 ALT: Ok. Why did you choose this menu for me?
 STU: Because It's seasonal.
 ALT: Oh, good idea. Thank you.
 STU: Thank you.

8 本時の学習（7時間目／全8時間）

(1) 日時 11月25日(木) 6校時 14:15～15:00

(2) 場所 常永小学校 ランチルーム

(3) 目標 和食マイスターとして、ALTへの「おすすめの和食」について、友達と自分の考えや気持ち伝え合うことができる。

(4) 展開例

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）						
1分	○Greeting ・挨拶をする。 ・天気、曜日、日にちの問いに答える。	・全体に挨拶をし、天気、曜日、日にちについて質問する。							
7分	○Small Talk ・昨夜食べた夕食について、HRTとALTの会話を聞いた後、ペアトークをする。	・昨夜食べた夕食について、HRTとALTで話す。児童に質問をしながら、話を進めていく。	電子黒板						
<p>ALT: What did you eat for dinner? HRT: I ate Tonjiru. Pork and vegetable miso-soup. ALT: It seems delicious. Is this daikon? HRT: Yes, it is. It is from Akeno-cho. Akeno-cho is famous for daikon. It is sweet and good. ALT: What's this? HRT: It's roots(Gobou). ALT: Is this good? HRT: Yes, it is. It is healthy, too. ALT: What color group is gobou in? HRT: Gobou is in the green group. ALT: Do you like Tonjiru? HRT: Yes, I do. It was delicious. ALT: Sounds nice.</p>									
<p>・Today's theme についてペアで話す。 「What did you eat for dinner?」</p>		<p>・既習事項の「What did you eat for dinner?」の表現から、それに関連するやり取りを継続して、発話への抵抗感を少なくする。</p>							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">S1: What did you eat for dinner?</td> <td style="padding: 5px;">S2: I ate curry and rice.</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;">S1: Do you like curry and rice?</td> <td style="padding: 5px;">S2: Yes, I do.</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black; padding: 5px;">S1: Can you cook curry?</td> <td style="padding: 5px;">S2: Yes, I can.</td> </tr> </table>				S1: What did you eat for dinner?	S2: I ate curry and rice.	S1: Do you like curry and rice?	S2: Yes, I do.	S1: Can you cook curry?	S2: Yes, I can.
S1: What did you eat for dinner?	S2: I ate curry and rice.								
S1: Do you like curry and rice?	S2: Yes, I do.								
S1: Can you cook curry?	S2: Yes, I can.								

2分	<p>○Today's goal</p>	<p>・ 本時のめあてを提示する。</p>	めあて（掲示用）
<p>Today's Goal 和食マイスターとして、「おすすめの和食」について友達と伝え合おう。</p>			
4分	<p>○Demonstration</p> <p>・ HRT と ALT のデモンストレーションを見ることを通して具体的な学習活動の見通しをつかむ。</p>	<p>・ HRT とのデモンストレーションを見せることを通して具体的な学習活動の見通しを示す。</p>	
<p>HRT: Look at this. ALT: Wao! It's beautiful. HRT: It's ozouni-soup . ALT: It seems delicious. What's this ? HRT: It's Hakusai. Hakusai is delicious in winter. ALT: Oh, it's seasonal. Do you like ozouni? HRT: Yes, I do. This is chicken. Chicken is healthy. ALT: Oh, I like chicken. What color group is chicken in? HRT: Chicken is in the red group. You can get muscle. You can run fast. ALT: It's good menu for me. Thank you. HRT: Thank you.</p>			
<p>・ デモンストレーションを見て気が付いたことを発表する。</p> <p style="text-align: center;">予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・seasonal, healthy, winter ・get muscle, run fast ・beautiful, delicious ・color group, Do you like ? ・can <p>などの表現を用いている。</p>		<p>・ デモンストレーションを見て気が付いたことを尋ねる。</p> <p>・ 栄養素や産地の他に伝えたいことを加えることを児童と確認する。</p>	
28分	<p>○Let's Try 前半</p> <p>・「おすすめの和食」について話し手と聞き手に分かれてやり取りを行う。</p> <p>○中間指導</p> <p>・ 代表でデモンストレーションをする。</p>	<p>・ 児童のやり取りを観察しながら、質問をしたり、称賛をしたりする。</p> <p>○中間指導</p> <p>・ 児童の様子を見ながら、やり取りの受け答えで特に思考している様子</p>	<p>和食カード</p> <p>◎和食マイスターとして、ALT への「おすすめの和食」について、友達と自分の考えや気持ちを伝え合っ</p>

<p>期待される児童(b)の姿</p> <p>S1: Look at This. This is tofu and seaweed miso soup.</p> <p>S2: It's nice. What's this?</p> <p>S1: It's grilled sanma.</p> <p>S2: Why (did you choose)this?</p> <p>S1: Sanma is delicious in fall.</p> <p>S2: I see. Where is sanma from?</p> <p>S1: Sanma is from Hokkaido.</p> <p>S2: Your menu is good.</p> <p>S1: Thank you.</p>	<p>の見られるペアに代表でデモンストレーションをしてもらう。</p>	<p>いる。(行動観察・振り返りシート記述点検)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションを見て気が付いたことを発表する。 	<p>取り上げる児童の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTを意識したやりとりをしている。 ・内容が適切である。 ・言い方が分からずに困っている。 	<p>話すこと「やりとり」 (思・判・表)</p> <p>◎和食マイスターとして、ALT への「おすすめの和食」について、友達と自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。(行動観察・振り返りシート記述点検)</p>
<p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT を意識したやりとりをしている。 ・既習事項を用いて、やりとりをしている。 ・自分たちも言い方が分からずに困っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションを見て気が付いたことを問う。 	<p>話すこと「やりとり」 (主)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・既習の英語表現を用いることで自分の考えを表現できることを共通確認する。 ・共通確認したことを生かして、やり取りを続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の答えから、表現に意味付けをする。 	
<p>後半</p> <p>○話し手と聞き手の役割を変え、やり取りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのやり取りがどのように変化したか映像を基に共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割を交代する指示を出す。 ・本時の活動でどのようなやりとりができていたか、児童の活動の様子を紹介する。 	
<p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT を意識したやりとりができるようになってきている。 ・応答の内容が適切になっている。 	<p>取り上げる児童の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT を意識したやりとりができるようになった。 ・応答が内容に対して適切にできるようになった。 	

		・児童の気づきを基に、自分の考えや気持ちを伝え合えたことを確認する。	
3分	○Review ・振り返りシートに自己評価を記入し、次時への目標や課題を持つ。	・本時のねらいに照らして児童を称賛すると同時に、次時への課題を示す。	振り返りシート

(5) 評価

○評価規準 bの姿

- ・和食マイスターとして、ALT への「おすすめの和食」について、友達と自分の考えや気持ちを伝え合っている。(思考・判断・表現)
- ・和食マイスターとして、ALT への「おすすめの和食」について、友達と自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

○評価の具体

[本時で使用するルーブリック]

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ALTへの「おすすめの和食」について、理由を添えて既習の語句や表現を用いて、友達と自分の考えや気持ちをより詳しく伝え合っている。	ALTへの「おすすめの和食」について、理由を添えて既習の語句や表現を用いて、友達と自分の考えや気持ちをより詳しく伝え合おうとしている。
b	ALTへの「おすすめの和食」について、既習の語句や表現を用いて、友達と自分の考えや気持ちを伝え合っている。	ALTへの「おすすめの和食」について、既習の語句や表現を用いて、友達と自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。
c	ALTへの「おすすめの和食」について、既習の語句や表現を用いて、友達と自分の考えや気持ちを伝え合っていない。 ⇒児童のつまずきに応じて助言や支援(ワードカードやイラストを提示)を行ったり、次時の時間までに練習機会を設けたりしながら、児童の改善状況を見取る。	ALTへの「おすすめの和食」について、友達と自分の考えや気持ちを伝え合おうとしていない。 ⇒児童のつまずきに応じて助言や支援(ワードカードやイラストを提示)を行ったり、次時の活動に向けて聞いたり、話したりする活動を十分に行うとともに、励ましたり、良いところ見つけて称賛したりする。

ability to think, to judge, to express themselves(思考・判断・表現)							
7th							
presenter(紹介者)				listener(聞き手)			
answer to the question as "Why (did you choose) this menu?" (「なぜこのメニューを選んだの?」という質問に対する答え)				be able to respond to the presenter. (紹介者への応答の仕方)			
Names	A	B	C		A	B	C
	<p>*Based on ALT's preferences or his needs. (ALTの嗜好や必要性に沿った理由を伝えている) (is from the Philippines/good for the muscle/low calories/cheap)</p>	<p>*using phrases that has already been said or has learned at the previous lessons.(既習に立脚した表現) (Ex:It is seasonal. It's from Hokkaido.) *good point about the menu(メニューに対する肯定的なメッセージ) (ex:I like it. It is delicious.)</p>	<p>no response (何も答えない)</p>	<p>Name of the partner (相手の名前)</p>	<p>to express her/his feelings with proper word. (相手に気持ちが伝わる応答を適切に言葉で表出している。) (“That's nice.” “It seems delicious.”)</p>	<p>simple reaction (相手に気持ちが伝わる何らかの応答ができている。) (“I see” “Okay.” “nodding”)</p>	<p>no response (何も答えない)</p>
例1	おざわ こうせい		○		パトリック		○
例2	やざき りょうこ	○			けいこ	○	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							